

職業実践専門課程として認定する専修学校の専門課程の推薦について

文 部 科 学 大 臣 殿

令和6年3月31日

下記の専修学校の専門課程を職業実践専門課程として認定する課程として推薦します。

記

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																												
岡学園 トータルデザイン アカデミー	昭和51年4月1日	岡 正子	〒380-0936 長野市岡田町96-5 (電話) 03-6734-2939																												
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																												
岡正子	昭和51年4月1日	岡 正子	〒380-0936 長野市岡田町96-5 (電話) 03-5253-4111																												
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																											
服飾・家政	服飾・家政専門課程	ファッション科	平成19年文部科学省 告示第21号																												
学科の目的	企業、行政等との連携を通し、技術レベル、コミュニケーションレベルともに、実践的で即戦力となる学生を育成するため。																														
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																								
2年	昼間	62	20	10	20	0	16																								
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内数)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																										
60人	48人	0人	9人	14人	23人																										
学期制度	■1学期:4月1日～7月31日 ■2学期:8月1日～12月31日 ■3学期:1月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 技術力、応用力、出席率等を基準																											
長期休み	■学年始:3月26日～4月7日 ■夏季:7月25日～8月18日 ■冬季:12月26日～1月10日		卒業・進級 条件	1年次75%/2年次85%の出席及びGPA制度に基づき評語(S～C並びにW・R)で表します。																											
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 担任による面談と授業担当者による課題研究		課外活動	■課外活動の種類 ゼミ活動 ■サークル活動: 無																											
就職等の 状況	■主な就職先、業界等(令和四年度卒業生) 母袋産業㈱、㈱エス・グループ、セルティ、ディーゼルジャパン㈱、㈱オンワード 桜山、㈱インク、㈱フューチャーアンティーク、㈱ジュンヒューマンクリエイティブ ■就職指導内容 面接指導、履歴書添削、ポートフォリオ作成指導、社会人マナー、 ビジネス一般知識、就職先紹介&斡旋 ■卒業生数 23 人 ■就職希望者数 18 人 ■就職者数 12 人 ■就職率 67 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 52 % ■その他 ・進学者数: 5人 (令和 5 年度卒業生に関する 令和6年4月1日 時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等)	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和5年度卒業生に関する令和6年4月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種別</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>AF T 色彩検定3級</td> <td>③</td> <td>73人(学年)</td> <td>68人</td> </tr> <tr> <td>マナープロトコール検定</td> <td>③</td> <td>72人(学年)</td> <td>62人</td> </tr> <tr> <td>ファッションビジネス能力検定</td> <td>③</td> <td>23人</td> <td>21人</td> </tr> <tr> <td>ファッション販売能力検定</td> <td>③</td> <td>11人</td> <td>10人</td> </tr> <tr> <td>洋裁技術検定</td> <td>③</td> <td>12人</td> <td>12人</td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等				資格・検定名	種別	受験者数	合格者数	AF T 色彩検定3級	③	73人(学年)	68人	マナープロトコール検定	③	72人(学年)	62人	ファッションビジネス能力検定	③	23人	21人	ファッション販売能力検定	③	11人	10人	洋裁技術検定	③	12人	12人
資格・検定名	種別	受験者数	合格者数																												
AF T 色彩検定3級	③	73人(学年)	68人																												
マナープロトコール検定	③	72人(学年)	62人																												
ファッションビジネス能力検定	③	23人	21人																												
ファッション販売能力検定	③	11人	10人																												
洋裁技術検定	③	12人	12人																												
中途退学 の現状	■中途退学者 7 名 令和4年4月1日時点において、在学者 48名(令和3年4月1日入学者を含む) 令和5年3月31日時点において、在学者 41名(令和4年3月31日卒業生を含む) ■中途退学の主な理由 (例)学校生活への不適合・経済的問題・進路変更等 経済的理由/進路変更/体調不良 ■中退防止・中退者支援のための取組 (例)カウンセリング・再入学・転科の実施等 三者面談、個別面談、カウンセリング		■中退率	14 %																											
経済的支援 制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: ○ 有・無 ※有の場合、制度内容を記入 岡久子特待生奨学金制度・・・成績優秀な学生の進級時(3年生に進級する学生が対象)に独自の奨学金制度あり。 ■専門実践教育訓練給付: 給付対象・非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																														
第三者による 学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ○有・無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																														
当該学科の ホームページ URL	https://okagakuen.com/																														

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業が求める人材レベル(人間性、コミュニケーションレベル、ビジネス知識等)並びに、技術レベル(即生産、製造、販売可能なレベル)に近づけるため、カリキュラム内容として、総合的に学べることとして、商品等の企画・デザイン・制作(場合によっては販売)、PDS(PLAN DO SEE サイクル)を行い、企業が求める、実社会に通用する即戦力のある人材に近づける。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会等は、職業実践専門課程の講義に係るカリキュラム策定において、企業が求める、必要な技術、知識等の意見、要望を伝える。その上で、それらの意見や要望をカリキュラムの一部に盛り込み、実社会において通用可能な人材育成を図る。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和4年8月1日現在

名前	所属	任期	種別
相場 千枝	ファッションビジネス学会	令和5年8月1日～令和7年7月31日	①
宮下 慎司	株式会社SEL	令和5年8月1日～令和7年7月31日	③
小野島剛	(株)FRONTIER	令和5年8月1日～令和7年7月31日	③
岡 正子	岡学園トータルデザインアカデミー	令和5年8月1日～令和7年7月31日	
大和田 秀行	岡学園トータルデザインアカデミー	令和5年8月1日～令和7年7月31日	
渡邊洋平	岡学園トータルデザインアカデミー	令和5年8月1日～令和7年7月31日	
竹村麗衣	岡学園トータルデザインアカデミー	令和5年8月1日～令和7年7月31日	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(7月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和5年7月26日 13時00分～14時30分

第2回 令和6年2月28日 13時00分～14時30分

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

どのようなカリキュラムが社会において必要なスキルや知識かという観点から、過去に行っていた内容の見直し(カリキュラムの再組み立て)を行い、その後は、極力それらの意見を反映した内容の講義を行っている。今回の委員の方々からの声を活かした内容としては、具体的には、商品ができるまでの一連の流れを把握する必要があるという意見に対し現場見学を行うということや、販売実習を通して経験を積む必要があるという意見に対しては、店舗運営のなどの現場実習を盛り込んでいる。これらを実習を通して、以前よりも学生の現場経験値があがったように見える。

(別途、以下の資料を提出)

- * 教育課程編成委員会等の位置付けに係る諸規程
- * 教育課程編成委員会等の規則
- * 教育課程編成委員会等の企業等委員の選任理由(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-1
- * 学校又は法人の組織図
- * 教育課程編成委員会等の開催記録

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針
 基本方針としては、企業側と学校側との双方の要望に対して意見交換を行い、具体的なカリキュラム内容、時期、時間等を決定する。また、基本内容としては、商品として「売れる」商材作りとし、そのためにどのような企画・デザイン・マーケティング戦略を行うなど、複合的な視点で実地する。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容
 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記
 連携協定書に伴い、店舗実習で販売予定商品の商材作りに関わる、技術指導、素材知識、企画、デザイン、製作、販売、PRに関わる一連の流れを学ぶ。また、評価に関しては、当授業における「技術レベル」、「商品(デザイン)レベル」に対して学内、並びに企業からの評価を得て成績に反映させる。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
服飾造形Ⅱ デザイン	応用的なパターンと縫製技術、ドレーピング技術の習得と実物制作	株式会社エコマコ
服飾造形Ⅱ パターンメイキング	応用的なパターンと縫製技術、ドレーピング技術の習得と実物制作	株式会社エコマコ
服飾造形Ⅱソーイング	応用的なパターンと縫製技術、ドレーピング技術の習得と実物制作	株式会社エコマコ
クリエイティブデザインⅡ	素材表現・立体表現応用	株式会社エコマコ
店舗実習	オリジナルショップに向けたマーケティング、ブランディング、商品企画、販売計画、店舗運営計画の立案とその実施	株式会社エコマコ

(別途、以下の資料を提出)
 * 企業等との連携に関する協定書等や講師契約書(本人の同意書及び企業等の承諾書)等

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 本校の教職員研修規定に基づき、教職員に対して、現在就いている職に係る職務の遂行に必要な知識、技能等を修得させることにより、その職務の遂行に必要な教職員の能力、資質等の向上を図ることを目的とする。具体的には、ドレメ式パターンの様式の変化に基づく、新型の習得のための研修や、企業から毎年発表される新素材を知るための研修、そのほかにも東京コレクションなどのファッションショーなどを通じてショーの構成、演出、音楽等を総合的に学ぶ。

(2) 研修等の実績

① 専攻分野における実務に関する研修等

■ 研修名「長野研修交流会」
 日時: 2023年4月14日: 当校大ホール: マツオインターナショナル株式会社
 研修者: ファッション科教員 渡邊洋平 竹村麗生
 研修内容: マツオインターナショナル株式会社
 人事総務部 河邊美佐 氏 鷲沢真由美 氏 田原智子 氏(採用担当)
 小山真澄 氏 (FA兼SNS担当 OB) 小林美咲希 氏 (新入社員) 東京および長野のアパレル企業のメンバー5名、当校の教員・生徒による交流会。グループディスカッションを通して、アパレルの現状や現場の仕組みを学び、就職活動において求められる人物像についてのレクチャーを受ける。

■ 研修名「セールスワーク」
 日時: 2023年6月16日 : 当校大ホール: 株式会社フロンティア 丸山翔大氏
 研修者: ファッション科教員 竹村麗衣 幅慎吾 渡邊洋平
 研修内容: 現場(ショップ)での業務内容説明とロールプレイング。
 販売・VMD等、実践に対応した演習を受けて指導力の習得・向上を図る。

② 指導力の修得・向上のための研修等

■研修名「トレンドセミナー2023-24 Autumn/Winter」

日時:2023年8月25日 ZOOM講義:萩原輝美氏

研修者:ファッション科教員 渡邊洋平 竹村麗衣

研修内容:世界のファッションコレクション より服飾業界の最新の動向や流行について、予習・講義の聴講・質問・ディスカッションを通して学習する。現場で起きている事象について理解し今後の授業での取り組みに反映させる。

■研修名「トレンドセミナー 2024 Spring/Summer」

日時:2023年10月27日 ZOOM講義:萩原輝美氏

研修者:ファッション科教員 渡邊洋平 竹村麗衣

研修内容:世界のファッションコレクション より服飾業界の最新の動向や流行について、予習・講義の聴講・質問・ディスカッションを通して学習する。現場で起きている事象について理解し今後の授業での取り組みに反映させる。

(3) 研修等の計画

① 専攻分野における実務に関する研修等

■2023年4月14日 :長野研修交流会:当校エコマコ:マツオインターナショナル株式会社

研修者:ファッション科教員 渡邊洋平 竹村麗衣

研修内容:東京のアパレル企業の新入社員・バイヤー・EC・総務・人事・広報のメンバー、当行の教員・生徒による交流会。グループディスカッションを通して、アパレルの現状や現場の仕組みを学び、就職活動において求められる人物像についてのレクチャーを受ける。

■2023年6月16日 セールスワーク:当校大ホール:株式会社フロンティア 丸山翔大氏

研修者:ファッション科教員 竹村麗衣 幅真吾 渡邊洋平

研修内容:現場(ショップ)での業務内容説明とロールプレイング。

販売・VMD等、実践に対応した演習を受けて指導力の習得・向上を図る。

■2023年10月 アパレルメーカー現場研修会:フレックスジャパン株式会社

研修者:ファッション科教員 渡邊洋平 竹村麗衣

研修内容:シャツのアパレルメーカーにおける、プライベートブランドの企画・デザイン・

生産・販売に関する研修(自社ブランドによる企画から販売までを知る)

② 指導力の修得・向上のための研修等

■2023年6月2日 トレンドセミナー2023-24 Autumn/Winterプレタ

:当校大ホール:萩原輝美氏

研修者:ファッション科教員 渡邊洋平 竹村麗衣 幅真吾

研修内容:世界のファッションコレクション より服飾業界の最新の動向や流行について、予習・講義の聴講・質問・ディスカッションを通して学習する。現場で起きている事象について理解し今後の授業での取り組みに反映させる。

■2023年10月27日 トレンドセミナー2023オートクチュール 2024SSプレタ

:ZOOM:萩原輝美氏

研修者:ファッション科教員 渡邊洋平 竹村麗衣 幅真吾

研修内容:世界のファッションコレクション より服飾業界の最新の動向や流行について、予習・講義の聴講・質問・ディスカッションを通して学習する。現場で起きている事象について理解し今後の授業での取り組みに反映させる。

(別途、以下の資料を提出)

- * 研修等に係る諸規程
- * 研修等の実績(推薦年度の前年度における実績)
- * 研修等の計画(推薦年度における計画)

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

デザインの専門分野の企業及びそれに類する方々と共に、学校関係者評価委員会を設置して教育目標や教育環境等について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	① 教育理念・教育目標 ③ 教育方針 ④ 年度方針
(2) 学校運営	① 学校運営の方針 ② 授業計画について ③ 学校組織のありかた ④ 意志決定のプロセス ⑤ 業務の効率化
(3) 教育活動	① 学科編成における全学科と通しての共通な特 ② 各学科の概要 ③ カリキュラムについて ④ 単位認定・成績評価の考え方について ⑤ 資格取得・国家資格に向けた授業について ⑥ 業界との協力体制 ⑦ 産学官共同授業について ⑧ 業界からの授業成果に関する協力について ⑨ 修了制作展 作品の展示について ⑩ インターンシップ
(4) 学修成果	① 就職指導の全体方針について ② 就職目標設定と27年度報告 ③ 就職に対する本校の特徴 ④ 就職指導体制
(5) 学生支援	① 学生支援体制
(6) 教育環境	① 施設・設備状況について ② 防災・災害に対する対応について ③ 保険への加入について
(7) 学生の受入れ募集	① 募集の動き ② 広報媒体 ③ 募集体制
(8) 財務	① 財務
(9) 法令等の遵守	① 個人情報保護について ② 学校自己点検・自己評価について ③ 学生作品と著作権の問題
(10) 社会貢献・地域貢献	① 産学官連携の成果 ② 産学官連携の一覧
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

次年度のカリキュラムを作成するうえでの参考文献として活用する(している)が、カリキュラム内容に関しては、企業が求める人材に即した内容に修正し、卒業生や在校生、の声に関しては、カリキュラム内容も去ることながら、講義を受ける環境、機械類などのインフラ整備に役立てる。また、保護者に関しては、就職状況の報告や、面談などのフォローをし、情報の共有化に役立っている。
採用例:①定期的に企業現場の方を招聘しての講義の実施、②パソコン設備不足による、コンピュータの補充、②年に一回の3者面談を通じての情報交換会など

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和4年8月1日現在

名前	所属	任期	種別
村松 裕幸	信州大学	令和4年4月1日～令和5年3月31日	専門家
福田典子	信州大学教育学部	令和4年4月1日～令和5年3月31日	専門家
高橋 和也	株式会社エイブルデザイン	令和4年4月1日～令和5年3月31日	企業等委員
酒井 俊司	株式会社エコマコ	令和4年4月1日～令和5年3月31日	企業等委員
高野 紫帆	岡学園トータルデザインアカデミー	令和4年4月1日～令和5年3月31日	在校生
渡邊 なの子	岡学園トータルデザインアカデミー	令和4年4月1日～令和5年3月31日	在校生
岡 正子	岡学園トータルデザインアカデミー	令和4年4月1日～令和5年3月31日	校長

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

<https://okagakuen.com/>

(別途、以下の資料を提出)

- * 学校関係者評価委員会の企業等委員の選任理由書(推薦学科の専攻分野との関係等)※別紙様式3-2
- * 自己評価結果公開資料
- * 学校関係者評価結果公開資料(自己評価結果との対応関係が具体的に分かる評価報告書)

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

よりよい学校運営を実現するために、学内のみならず、学校運営に関わる企業や学校関係者から、学校運営に関する意見や提案をいただき、学校経営の改善に役立てることを目的とする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	①教育方針 ②理事長及び校長名、所在地、連絡先等 ③学校の沿革、歴史 ④学校保健安全計画
(2) 各学科等の教育	①入学者に関する受入れ方針及び収容定員、在校生数 ②カリキュラム ③進級・卒業の要件等 ④学習の成果として取得を目指す資格 ⑤資格取得、検定試験合格等の実績 ⑥卒業者数、卒業後の進路
(3) 教職員	①教職員の組織 ②教職員数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	①キャリア教育への取組状況 ②実習・実技等の取組状況 ③就職支援等への取組支援
(5) 様々な教育活動・教育環境	①学校行事への取組状況 ②課外活動
(6) 学生の生活支援	①学生支援への取組状況
(7) 学生納付金・修学支援	①学生納付金の取扱い(金額、納入時期等) ②奨学金、授業料減免等の経済的支援措置
(8) 学校の財務	①財務
(9) 学校評価	①学校自己評価報告書および評価結果を踏まえた改善方策 ②学校関係者評価報告書および評価結果を踏まえた改善方策
(10) 国際連携の状況	①留学生の受入れ状況 ②外国の学校等との交流状況
(11) その他	①学則

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ・広報誌等の刊行物・その他())

<https://okagakuen.com/>

(別途、以下の資料を提出)

* 情報提供している資料

事務担当責任者	フリガナ	コシ マサトシ	所属部署	
	氏名	越 将俊	役職名	
	所在地	〒380-0936 長野市岡田町96-5		
	TEL	026-226-5719	FAX	026-224-4064
	E-mail	info@okagakuen.com		

(備考)

・用紙の大きさは、日本工業規格A4とする(別紙様式1-2、2-1、2-2、3-1、3-2、4、5、6、7についても同じ。)

授業科目等の概要

服飾・家政専門課程 ファッション科 ファッションクリエイターコース令和四年度																
分類	必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
									講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			服飾造形Ⅰ論	服飾造形の基礎に必要な概論、縫製とパターン、造形知識の習得と実物制作	1	54	2	○	○	○	○		○		
2	○			服飾造形Ⅰデザイン	服飾造形の基礎に必要なデザイン、縫製とパターン、造形知識の習得と実物制作	1	54	2	○	○	○	○		○		
3	○			服飾造形Ⅰパターンメイキング	服飾造形の基礎に必要なパターン、縫製と造形知識の習得と実物制作	1	54	2	○	○	○	○		○		
4	○			服飾造形Ⅰソーイング	服飾造形の基礎に必要な縫製、パターンと造形知識の習得と実物制作	1	54	2	○	○	○	○		○		
5	○			クリエイティブデザインⅠ	素材表現・立体表現	1	81	3	○	○	○	○		○		
6	○			服飾造形Ⅱ論	応用的な概論、パターンと縫製技術、ドレーピング技術の習得と実物制作	2	81	3	○	○	○	○		○		
7	○			服飾造形Ⅱデザイン	応用的なデザイン、パターンと縫製技術、ドレーピング技術の習得と実物制作	2	81	3	○	○	○	○		○		○
8	○			服飾造形Ⅱパターンメイキング	応用的なパターンと縫製技術、ドレーピング技術の習得と実物制作	2	81	3	○	○	○	○		○		○
9	○			服飾造形Ⅱソーイング	応用的なパターンと縫製技術、ドレーピング技術の習得と実物制作	2	81	3	○	○	○	○		○		○
10	○			服飾造形Ⅱ立体裁断	応用的な立体裁断、パターンと縫製技術、ドレーピング技術の習得と実物制作	2	27	1	○	○	○	○		○		
11	○			クリエイティブデザインⅡ	素材表現・立体表現応用	2	108	4	○	○	○	○			○	○
12	○			Fデザイン画Ⅰ	ファッション画(基礎)、コンテスト応募	1	54	2	○	○	○	○			○	
13	○			色彩学	ファッション画(基礎)、コンテスト応募	1	54	2	○	○	○	○			○	
14	○			ファッションビジネスⅠ	ファッションビジネス能力検定対策・マーチャンダイジング	1	81	3	○	○	○	○		○		
15	○			テキスタイルデザイン	素材の基礎組織、染色加工等	1	27	1	○	○	○	○			○	
16	○			ファッションスタイリング	ファッションスタイリング知識と実技	1	27	1	○	○	○	○		○		
17	○			制作展実習Ⅰ	制作展に向けての個人クリエーション	1	135	5	○	○	○	○		○		
18	○			Fデザイン画Ⅱ	ファッション画(基礎)、コンテスト応募	2	54	2	○	○	○	○			○	
19	○			ファッションビジネスⅡ	ファッションビジネス・マーチャンダイジング	2	81	3	○	○	○	○		○		
20	○			制作展実習Ⅱ	制作展に向けての個人クリエーション	1	135	5	○	○	○	○		○		
21	○			ビジネス一般	ビジネス文書、電話対応、就職対応等	1	54	2	○	○	○	○		○		
22	○			店舗実習	ショップ企画、運営、商品の設計、量産、販売	2	54	2	○	○	○	○	○	○		○
23	○			PC	オフィスソフト応用	1	27	1	○	○	○	○			○	
24	○			マナープロトコール	マナー&プロトコール	1	27	1	○	○	○	○			○	
25	○			フォーラムⅠ	デザイン講話、ワークショップ	1	54	2	○	○	○	○	○	○		
26	○			プレゼンⅠ	プレゼンテーション	1	27	1	○	○	○	○		○		
27	○			校外研修Ⅰ	企業研修、現場見学会、展示会の参加等	1	27	1	○	○	○	○		○		
28	○			自主単位Ⅰ	ゼミ活動	1	27	1	○	○	○	○		○		
29	○			フォーラムⅡ	デザイン講話、ワークショップ	2	54	2	○	○	○	○	○	○		
30	○			プレゼンⅡ	プレゼンテーション	2	27	1	○	○	○	○		○		
31	○			校外研修Ⅱ	企業研修、現場見学会、展示会の参加等	2	27	1	○	○	○	○		○		
合計						32科目		単位時間(67 単位)								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
		1学年の学期区分
	1学期の授業期間	12週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。